

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	アレンジ3		
<b>科目基礎情報</b>						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期		
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数		
単位数	1単位			授業形態		
教科書/教材	自分で制作した楽曲を保存しておけるようなUSBまたはハードディスク					
<b>担当教員情報</b>						
担当教員	二本柳一明 下條 慧	実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー/企業作家			
<b>学習目的</b>						
ポートフォリオ制作に向け、各個人が必要とする能力を習得する。 作編曲・ミックス・音作りなど、多方面からのアプローチにより、楽曲のクオリティー向上を目指す。						
<b>到達目標</b>						
各自が目指すクリエイター像により高いレベルで近づく。 しっかりとした裏付けに基づく知識と技術を身につけ、より高レベルなポートフォリオの作成に反映させる。						
<b>教育方法等</b>						
授業概要	主に生楽器を扱いボイシング手法等を学ぶアナログ班と、DTMベースでアレンジを進めるデジタル班に分かれる。 講義等は基本的にその班ごとに行い、演習でさらに細かく個別指導を行うものとする。班の行き来は一定の条件を満たしているならば、可能とする。オプションとして後期には同じ講義内容をもう一度繰り返すので、自分に合う活用法で利用するものとする。 受講生は1週間のうちに添削用の楽曲を準備、授業ではその楽曲の改善指導を行うものとする。					
注意点	指導に、より客観性を持たせるため二人の講師は極力全員の進行状況を把握するよう努める。弦・管などのセクションレコーディングは9~10月を予定。受講生には自発的に質問・意見を発する自発性が望まれる。受講生本人が進め方を決める授業なので、躊躇なく自らの力で打開策を見つける必要がある。もちろん教員はその手助けを行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備考			
	試験・課題	60%	作品提出の他、トピックごとに宿題あり。			
	小テスト	0%				
	レポート	0%				
	成果発表 (口頭・実技)	0%				
	平常点	40%	出席率および受講態度			
<b>授業計画 (1回~15回)</b>						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	(共通) chord symbol と chord scale	chord symbol=chord scale であることの確認と、基礎的なchord scaleの確認				
2回	(共通) approach note と LIL	approach note の種類を整理、low interval limit 判定時の注意点を確認				
3回	(共通) diatonic harmony	グレード9, 12, 17に準じる				
4回	(A) voicing (2声のハモリと4 way close) (D) EQの使い方	(A) 音程ごとに2声ハモの使い分けを行う。4 way close voicing の習得 (D) 基本知識と楽器や用途によっての使い分けを学ぶ				
5回	(A) voicing (各種 drop voicings) (D) コンプレッサーの使い方	(A) drop 2/ drop 3 を習得 (D) 基本知識と楽器や用途によっての使い分けを学ぶ				
6回	(A) drop voicings 続き (D) リバーブ・ディレイの使い方	(A) drop 2&4 を習得 (D) 基本知識と楽器や用途によっての使い分けを学ぶ (opt: send/ return)				
7回	(A) spread voicing (D) ドラムの音作りとパターン	(A) 4声の spread voicing を習得 (D) ダンスマジックにおけるドラムの打ち込みと音作りについて学ぶ				
8回	(A) cluster voicing (D) ベースの音作りとパターン	(A) cluster voicing および中難易度の chord scale を確認 (D) 808とシンセベースについてそれぞれの打ち込みと音作りについて学ぶ				
9回	(A) 録音に向け、該当楽器の instrumentation (D) コードシンセの打ち込み	(A) 決定した楽器編成に基づく楽器特性とスコアリングの確認 (D) コードシンセの打ち込み方や音作りの方法について学ぶ				
10回	(A) 3声の voicing (D) リードシンセの打ち込み	(A) 3声の voicing 手法を習得 (D) リードシンセの打ち込み方や音作りの方法について学ぶ				
11回	(A) レコーディング作品制作 (D) サイドチェインについて	(A) レコーディング準備 (D) サイドチェインの用法や使い方を学ぶ				
12回	(A) レコーディング作品制作 (D) レイヤーについて	(A) レコーディング準備 (D) 音を効果的に重ねて、新たな音色を作り出す方法を学ぶ				
13回	(A) レコーディング作品制作 (D) loop素材やone shot素材について	(A) レコーディング準備 (D) loop 素材や one shot 素材を使い、リズムや曲に色をつけることを学ぶ				
14回	(A) レコーディング作品制作 (D) ミックスについて1	(A) レコーディング準備 (D) ミックスの基本的な考え方、全体の捉え方について学ぶ				
15回	(A) レコーディング作品制作 (D) ミックスについて2	(A) レコーディング準備 (D) 実際に素材をミックスしてみる				